

デュオスマイル Duo Smile

デュオドーパ®をお使いのみなさまへの情報誌

Vol.
5

〔総監修〕

独立行政法人 国立病院機構
仙台西多賀病院 院長

武田 篤先生



abbvie

外来での何気ない会話の大切さ ～患者さんサポートのためにできること～

私は、神奈川県川崎市にある聖マリアンナ医科大学病院 脳神経内科 パーキンソン病専門外来の看護師をしています。当院でデュオドーパ治療を開始された患者さんは2019年11月現在で18名おられますが(全国では約700名の方がデュオドーパ治療を開始されたそうです)、患者さん中心の看護・他科とのチーム連携を高めた看護を目指しています。患者さんに安心して標準化された看護が提供できるように、院内のスタッフ研修・学習会の開催に力を入れています。

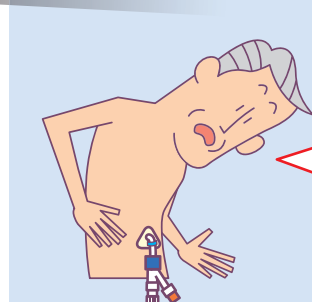
当院では診察前に看護師が問診に伺いますが、短い時間で得られた情報が皆様の診療のサポートにつながるように、医師との情報共有を大切にしています。施設によって看護師の関わり方も違うと思いますが、限られた診察時間の中でより良い治療が受けられるように、看護師や医療関係者とのコミュニケーションを図ってください。当院での事例を紹介しますので、ヒントにいただければと思います。

聖マリアンナ医科大学病院
脳神経内科外来 看護師

諸澤 由利子



胃ろう周囲のケアについて ①



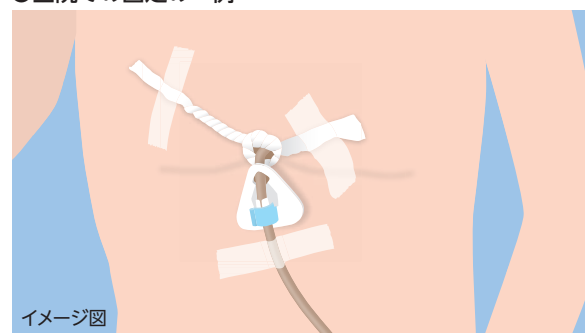
チューブの周りから、黄色い液体が出て、服が汚れることがあるんですが…

チューブの周りはできるだけ乾燥させて清潔にしてください。ティッシュペーパーで「こより」を作るといいですよ。



- ★胃ろうは胃と交通しているため、胃液が漏れ出すことがあります。清潔を保ち、乾燥させておくことが大切です。
- ★ティッシュペーパーで「こより」を作り、チューブの周囲に巻き付け、汚れたら交換すると経済的です。浸出液が多いときはガーゼを使用するのも良いでしょう。
- ★胃ろう周囲の皮膚が赤く腫れて熱を持つ、常に痛みがある、粘りのある白～黄緑色に濁った分泌物があるなど、異常があれば早めに医師・看護師へご相談ください。

●当院での固定の一例



イメージ図

胃ろう周囲のケアについて ②

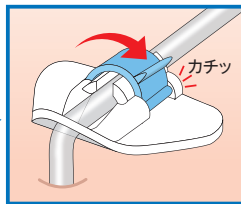
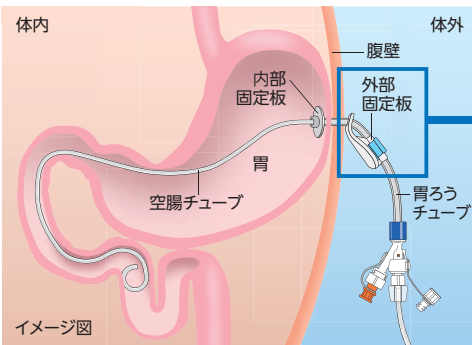


チューブの周りに肉が盛り上がりおへそみたいたいになってきてるんだよね…

チューブが引っ張られたりすると肉芽ができやすくなります。チューブをしっかり固定することも大事ですよ。



外部固定板の重要な役割を解説します。



三角の外部固定板は、チューブがお腹の中に過度に引き込まれないようにするため、ストッパーの役割があります。皮膚から0.5～1.0cm離して、しっかりと留めてください。

万が一外したままにしていると、ストッパーがない状態になり、チューブが過度にお腹の中に引き込まれてしまう可能性があります。
しっかりと留めておくことが大切です。

★しっかりと固定すると、チューブの大きな動きが少なく皮膚への負担も減少します。

前頁の<固定の一例>を参照してください。

★一時的に軟膏等で処置をする場合もありますので、医師・看護師へご相談ください。

導入当初はチューブに関して多くの不安があると思います。当院での患者さんの声の一部です。

チューブがどんどん黒くなります。交換はするのですか？

→基本的に交換はありません。チューブが黒くなるのは、胃液や薬の成分によるもので劣化ではありません。

→外出時に色が気になる患者さんは、マスキングテープで見える範囲を保護し、洋服と合わせておしゃれしている方もおられます。

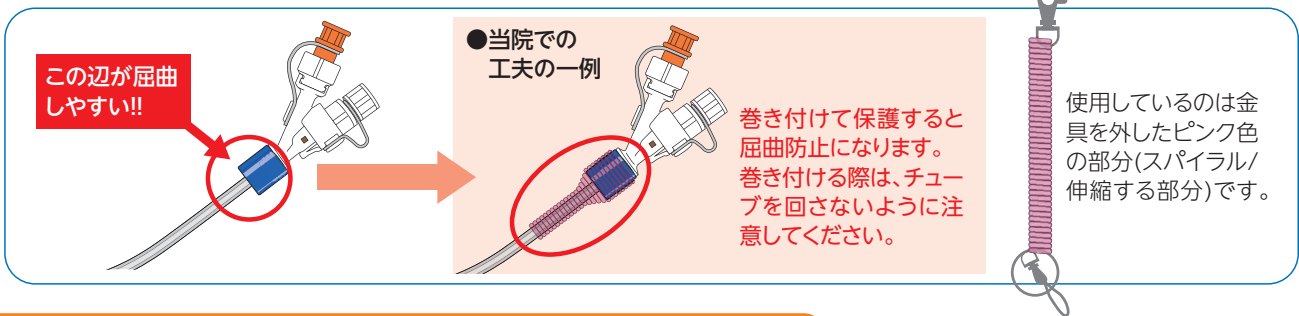
チューブが折れ曲がってしまい、コネクタとチューブの接続部分から液体が漏れてきました。

→コネクタとチューブの接続部分が緩んでいる可能性があります。応急処置として、低粘着性のテープを巻いて固定してください。

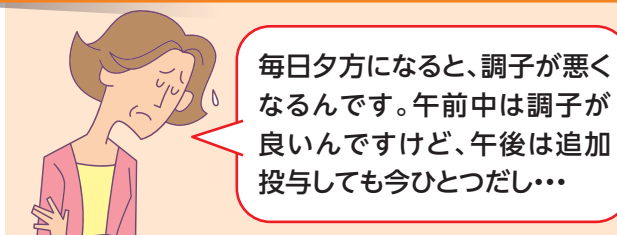
→外来時等に医師や看護師へ相談してください。漏れている部位を確認し、場合によってはコネクタの交換で解決できる場合があります。

患者さんの声を解決する方法として…

→変色の目隠しと屈曲予防のため、スパイラルキーチェーン(スプリングキーホルダー、スパイラルコイルなど呼び方は様々です)で保護している方もおられます。100円ショップなどでも購入でき、スパイラル部分はクリアなものや色つきなど様々あるようです。



日頃の症状を具体的に伝える ～患者日誌の活用～



そうですね…。先生と用量の相談が必要ですね。患者日誌や外来連絡帳は持っていますか？



★患者日誌をつけて、一日の流れを見てもらうとよく伝わります。

★追加投与の時間や回数、症状の変化などを患者日誌に毎日記録しましょう。

★どんな時に困っているか具体的に伝えてください。一緒に解決するためのヒントになります。前回の外来からの変化や気になる事を、外来連絡帳にまとめておくと良いでしょう。

日常生活で注意していただきたいこと

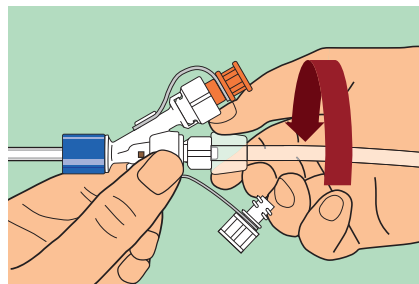
チューブとカセットの装着時には、カセットチューブ側を回して装着してください。

PEGチューブ側を回してしまうと、お腹の中でチューブがねじれたり、折れたりして閉塞の原因につながります。カセットチューブを外す場合も同じです。

規則正しい生活を心がけましょう。

朝の投与は毎日同じ時間帯に実施しましょう。

一度朝の投与を実施したら20時間のロックアウトタイムがかかります。次にボタンを押せるのは20時間後になります。

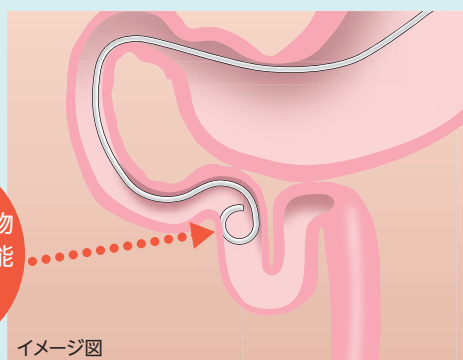


エノキ茸や食物繊維の豊富な食物は細かく刻んで食べましょう!!

エノキ茸やアスパラガスなど食物繊維が豊富な食物は、そのまま食べると消化されずに空腸チューブの先端に絡まってしまう可能性があります。チューブの先端に食材が絡まると、そこに別の食材も絡まりやすくなりますので、調理の際や食べる際に細かく切るなどの工夫をしてください。

色々な食材を一度に摂れるお鍋や具沢山なお味噌汁は身体を温めてくれる冬にはもってこいのメニューです。

調理法を工夫しながら冬ならではの食事を楽しんでください。



イメージ図

細かく切るなどの工夫が必要な食材(例)

エノキ茸 アスパラガス もやし

豆苗 ニラ 糸こんにゃく

ふき わらび



※上記が全てではありません。似たような食材は細かく刻んでください。

調理の工夫



デュオドーパ®による治療を受けられる患者さんのための問い合わせ窓口

デュオドーパ®コールセンター

フリーダイヤル

0120-063-789

受付時間：24時間365日〈通話料無料〉

わからないことがあればいつでもお電話ください。お待ちしております。

患者さんや介護者の方々からのお電話をお受けしています。

